

教育研究評議会議事録

令和4年3月9日（水）
15時30分から17時15分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者
議長
評議員

玉手英利（学長）
飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬晃（理事）
林田光祐 羽鳥政男（副学長）
是川晴彦 本多薫
大森桂 中西正樹
大西彰正 並河英紀
上野義之 川前金幸
中島健介 落合文吾
村山秀樹 渡部徹
伊藤浩志 三上英司
佐藤慎哉

陪席者
監事

渡辺均 大森夏織

1 教育研究評議会議事録（2月9日開催開催）の確認
玉手学長から、前回2月9日開催開催の本会の議事録（案）について確認があり、議事録が了承された。

2 【協議】山形大学における競争的研究費の直接経費からの研究代表者等の人件費の支出により確保された財源の活用に関する規程等の制定等について
飯塚理事から、「競争的研究費の直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出について（令和2年10月9日競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ）」に基づき、競争的研究費の直接経費から当該競争的研究費の研究代表者又は研究分担者の人件費を支出することが可能となったため、本学で実施するための必要な事項を定めることについて審議願うものである旨連絡があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、改めて各学部の研究ディレクターに意見照会をした上で、役員会にて審議することとなった。

本件に関する主な質疑応答は以下のとおり。

- ・大学業務を減らすなどの対応がなければ、何がPIのインセンティブなのか分かりにくい。
- ・本学財源の振り分け方が変わるということであり、単なるインセンティブではない。重要なのは、この制度を使って研究力を強化することであり、運用については今後慎重に検討する必要がある。
- ・用途を給与水準の向上か研究室の整備等に使うかで選択できることが、実際には給与に使うことに対する暗黙のバリアになっていないか。人によって用途が異なることは好ましくない。明確に給与水準の向上に使うと定めるべきではないか。
- ・研究戦略会議で研究室の整備等にも使えるようにしてほしいとの意見があり、選択制にしている。改めて意見照会をして検討したい。
- ・本制度の財源は、ほかの財源と合算して使用することは可能か。
- ・合算する財源に特段の制限がなければ可能である。

3 【協議】令和4年度行動計画について
花輪理事から、令和4年度行動計画案及び行動計画の進捗管理について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

- 4 【協議】国立大学法人山形大学及び山形大学基本組織規則等の一部改正等について
花輪理事から、以下の事項に伴い、関連する全学規則について所要の改正等を行うことについて審議願うものである旨説明があった。

- ・学長の権限として理事又は副学長に委任する業務の見直し
- ・教育研究組織の見直し等
- ・個人情報保護に関する法律の改正
- ・学校教育法施行規則の改正
- ・医学部定員増
- ・教務関係規則の見直し

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

- 5 【協議】教育研究組織の設置について
花輪理事から、アントレプレナーシップ開発センター及び地域共創 STEAM 教育推進推進センターの設置について審議願うものである旨説明があった。

本件に関する主な質疑応答は以下のとおり。

- ・アントレプレナーシップ開発センターは、米沢キャンパスの国際事業化研究センターから発展したもののだが、国際事業化研究センターの今後及び予算がどうなるかについて伺いたい。
- ・今後は、国際事業化研究センターは研究力強化、アントレプレナーシップ開発センターは人材育成というかたちで業務の棲み分けを明確にし、双方をさらに強化していきたい。予算については財務部と相談の上対応していく。

- 6 【報告】令和4年度理事・副学長に権限を委任する業務について
学長から、議題に関して、報告があった。

本件に関する主な質疑応答は以下のとおり。

- ・男女共同参画とダイバーシティという言葉の意味するところは全く異なるので、単に置き換えるのではなく、目的を見直す必要があるのではないか。

- 7 【報告】個人情報の保護に関する法律の改正に伴う対応について
花輪理事から、議題に関して、報告があった。

- 8 【報告】山形大学の教育改革について
出口理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関する主な質疑応答は以下のとおり。

- ・WGだけでなく現場ともコミュニケーションを図り、熟慮期間を設けて調整を進めてほしい。
- ・データサイエンス基礎はどういった位置づけになるのか示してほしい。
- ・データサイエンス基礎については検討を進めており、データサイエンス教育研究推進本部会議にて各学部を示す予定である。
- ・コミュニケーションスキル2の変更について、国際交流の観点から意見を伺いたい。
- ・単位の出るものに限らず多様なプログラムをつくるのが第4期目標計画に書かれており、国際交流の機会として、単位に限定することはないと考える。多様な国との交流を可能な限り残していきたい。

- 9 【報告】令和4年度オープンキャンパスについて
出口理事から、議題に関して、報告があった。

- 10 【報告】山形大学国際化に関するアクションプラン 2021 達成状況について
林田副学長から、議題に関して、報告があった。
- 11 【報告】令和3年度卒業・修了予定者の就職内定状況（2月末現在）について
矢作理事から、議題に関して、報告があった。
- 12 【報告】令和2年度監事監査フォローアップについて
学長から、議題に関して、報告があった。
- 13 【報告】令和4年度学長補佐について
学長から、議題に関して、報告があった。
- 14 【その他】令和4年度教育研究評議会開催日程
学長から、来年度の本会日程について、報告があった。

次回は、令和4年4月13日（水）に開催することとなった。